

訪問診療同行看護師って？

訪問診療に同行し、診察の補助を行う看護師を「診療同行看護師」と呼んでいます。医師の診療が円滑に行えるよう、診療中はもちろん、事前準備や帰院後にも様々な業務を行います。

在宅医療では、患者さんの意思を軸に、医療・看護・介護・行政など、多面的な支援が行われます。これらの関係者を、患者さんの求めに応じてつないでいくことも、私たちの仕事です。

出会う方の人生に深く関わり支えていく、これからの時代に求められる新しい看護師の役割です。

学べる事

- ・五感を使った臨床判断やアセスメント
- ・病院勤務では見えない「暮らし」が分かる
- ・医療と生活のバランス感覚
- ・持続可能な在宅生活を設計する力
- ・コミュニケーション能力が磨ける
- ・エンドオブライフケアの実践力
- ・多領域の多くの疾患や看護
- ・在宅特有のリスクマネジメント

訪問バッグの中身紹介

訪問バッグ

- バイタル測定グッズ
- 採血・採尿用物品
- ウィルス検査キット
- 手袋・アルコール綿
- 創傷処置物品
- ゴミ箱・針捨てBOX



点滴BOX

- 補液
- 注射薬剤
(抗菌薬・利尿剤など)
- 座薬
- ルート類
- 留置針・直針



看護師カバン

- 患者毎の紙カルテ
- タブレット
- ポータブルエコー
- 印鑑・ハンコ類
- 説明用書類

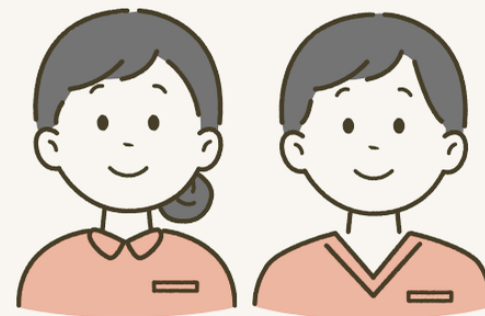


車載用品

- 感染対策用品
- 足カバー・スリッパ
- 膀胱留置カテーテル
- ゴミ袋
- 災害対策用品

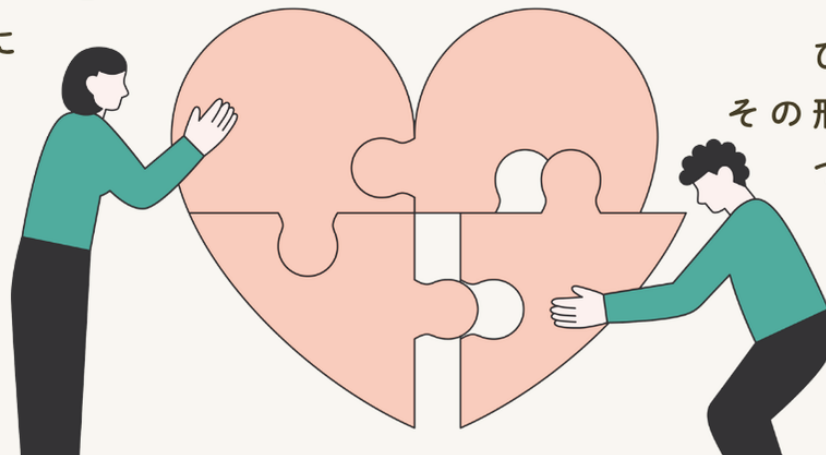


診療同行看護師って どんな仕事？



医師と共に暮らしを支える
新しい看護の役割です

パズルのピースを
埋めるように



ひとつひとつ
その形を確かめて
つないでいく

暮らしを支える3つの柱



アセスメント

看護師の専門的な視点で医療・生活面を捉え、在宅医療の質を支える役割を担います。今後の予測も含めて、患者さんやご家族の「暮らし」全般に視野を広げ、診療の補助を行います。



つなぐ

患者さん・ご家族・関わる多職種・地域にも目を向け、揺れ動く想いに寄り添い伴走し、心残りのない選択ができるよう、架け橋となって皆さんをつなぎます。



整える

多職種からの情報や、現場の優先度に合わせたマネジメントを行います。患者さんの真意を汲み取り、医師との関係性を支えます。医療物品など、ハード面にも不足がないよう、調整を行います。

1日のスケジュール(例)

- 8:30 \おはようございます/
始業・今日の打ち合わせ
前日の診療時の情報共有
- 9:00 午前の訪問診療開始
▶ 訪問中の仕事
バイタル測定
診療の補助
(採血・処置・検査介助など)
生活状況アセスメント
患者家族への説明・フォロー
往診対応
- 12:00 ■ お昼休み //
- 13:00 午前の訪問診療開始
- 16:30 帰院 ▶ 片付け、処方箋処理
- 17:00 終業 \お疲れさまでした/

院内業務(例)

- ・訪問時の記録記載
- ・関係先と電話での連絡・連携・情報共有
- ・連携ツールで情報収集
- ・緊急コールの電話対応
(情報収集、アセスメント、医師への共有や往診相談)
- ・カンファレンス参加
- ・物品管理(過不足なく、コスト意識も持つ)
- ・翌日の準備
- ・事務的業務